

再生

師友道友の活動を綴る善行伝承誌

われわれ人間は「生」をこの世にうけた以上、それが
自分に忘れて、一つの「心願」を抱き、最後のひと
呼吸までそれを貫きたいものです。

森信三先生一語千鈞より

第0062号

2021.10月号

令和参年

実践人福岡仁風読書会

再生の題字（森迪彦様提供）は、森信三先生の直筆です。



現代における孝の哲理

森 信三先生 講述

— マナコを閉じて親の祈り心を —

十三 孝は東洋的叡智による宇宙的真理

いのちの霊宝

さてこの点についてわが国の徳川期の初めに現われ、日本における陽明学の祖といわれる中江藤樹先生の学問は、「孝を中心とせられた」という点で他に比類がないといえるのであります。即ちわが藤樹先生の学問思想の根幹は、じつに「孝」の一語に尽きるのであります。のつとも藤樹先生の学問の中核をなす「孝」とは、単にもろもろの徳目中の一としての孝ではなくて、実に一切の徳目の大本であり、更にはこの大宇宙生命の根源そのものに通ずる絶対的な位置をもつものと考えられているのであります。そうした意味からはまたしばしば「大孝」とも名づけられているわけであります。

かくしてこの孝徳とは、藤樹先生においてはいのちの発現する二大様式としての敬・愛の念の大本と考えられたわけであり、それ故また敬・愛の念という「霊宝」は、もともとそれぞれ人の身に具わっていると申されているのであります。随ってまた敬・愛の念は無私の心情であり、人間の真実そのものと申してよいのです。随ってこの点からは、同じく愛とはいっても、男女間に見られるかの相思相愛の情と呼ばれるものとは、根本的に異なることはお分かりになることでしょう。しかしそれだけにまた孝徳の実験躬行は困難であり、さらには至難とさえいえます。とくに戦後アメリカ思想の影響下にある現在のわが国においておやであります。即ち孝行などということとは、封建的な道徳であって、

何らの意義も価値もないと考えている人が大方と申してよい現状といえましよう。しかしこのままですら果して良いといえるのでしょうか。



早朝読書会の様子 R3.09.04 (土) AM7:00

福岡空港ミリオン清掃の後に空港近くの大井中央公園で輪読しています。この日は、森信三先生の「人生二度なし」3、「社会のために尽くす」ということ

実践人福岡仁風読書会

第58回 9月4日(土)

場所:福岡市博多区大井2丁目 大井中央公園にて

(実践人の家の会員であればどなたでも参加できます)

(参加費無料) 詳細は、世話人へお問い合わせください。

校長の授業

子どもが好きで、授業が好きであれば、まず先生としては一人前である。下手の横好きということもあるが、好きこそもの上手なれということがある。子どもも先生を見做って勉強が好きになること受合ひである。若い時から授業にはうちこんできたので、校長になっても、授業をすることはやめられず、折があれば授業をして楽しんだ。

授業をすれば、学習の面で、子どもと親しくなり、ひとりひとりの個性も学力もよくわかるし、又、授業の中で、いちいち直接に子どもを救い上げることができた。

先生の欠席があるとすんで補欠に行った。まず、指名点呼をする。欠席を調べることだけでなく、子どもの名前を知ることができる。指名されたら起立して正しく返事をせねばならぬ。声が小さかったり、姿勢が悪いと、笑顔で何回もやりなおす。教室の音量はどのくらいかがわかる。叱ることはいらぬ。教師の方で余裕をもち笑っていれば、この間に子どもは愉快になり笑い出し、親しくなっていく。授業の基礎は、教師と子どもが親密感に溢れることが第一である。

第二に教室の環境である。これがすこしまずいと思つたら、ちよつとその事を話し納得させて、日直を中心に、塗板を布かせ、みぞの粉を拭かせ、チョークを整理し、机の配置や、その日の天気に合わせて窓の開閉をなおす。やっぱりこの方が気持ちがいいと言ふ。

次は学習の方法訓練である。机の上に並べてある品を見なおさせる。全然何も出していない子、それは学習意欲のない子とまずわかる。本だけ出している子、ノート・鉛筆まで出して居る子とさまざまである。おもむくに

「机の上には今、何と何があればよいか。」

とたずね、「そうしてみなさい。というときちゃんと揃う。かと思つと筆入れまで出す子がいるので鉛筆だけにさせる。ノートを持たない子には白紙を渡してやる。古るのではなし、笑顔でてきばきと行動させ、その

結果が子ども自体によくわかるようにする。どんなに乱れている学級でも十分間とはかからない。それ以上はくどくなるし、授業にいそいで取りかからねばならぬ。又、よい学級は低学年でもきちんと出きている。授業について私の心がけたことは次のことである。

一 どの子にもよくわかるために、ひとりひとりを見つめ、能力に応じて発表させたり仕事させたりする。

二 教えこむよりは、ひとりひとりの学習の態度をつくり、方法を覚えさせる。

三 習ったことを覚えこむばかりでなく、学習が面白く、その教材が好きになるようにする。

四 できない、覚えなという劣等感を取り除き、それぞれ成功感を味わせ自身をつけさせる。

こつこつことは、やはり、教材の重点を読み取る力と、子どもひとりひとりを愛する気持がなくてはならない。授業の中に歓声があがる。爆笑が起る。静寂の一瞬がある。相互のささやきがある。

補欠授業をしているうちに、担任が来ると私の授業に、子どもが喜びの中に大活躍をしひとりひとり理解している様子に驚いてみている。爆笑に誘われて隣の先生が参観に来る。そのうちに授業をたのまれてやってみる。そのあと、学習訓練について話し、教材の観方学級経営について話し合う、或年には順番に各級とも指導するよう要望されたこともあった。一時間算数をやつたら、算数が好きになったと言つ子が何人もできた。授業を通して子どもと親しくなり、又、落伍していく子を救うこともできる。そう思つて私は最後まで授業を続けた。

第39回 福岡空港ミリオン清掃

9月4日(土曜日)

9名参加



昨晩までは雷も鳴る大雨で翌朝が心配でしたが、今朝は天気も回復し気持ちの良いお掃除でした。皆さん思い思いにゴミを拾い、一見きれいに見える公園も終わってみればたくさんのゴミが集まり驚きました。眺めるだけでは見えないことも、手と足を使うことで見えてくることもあり、実践の大切さを改めて感じました。掃除後は野外で読書会も行い、年齢も立場も境遇も違う皆さんとお掃除を通してご縁をいただけることに感謝の想いでいっぱいになりました。本日もありがとうございました。
HIROMITU



皆様、今日もお掃除さまでした。すごくよい1日のスタートが切れました。遅れましたが、皆様に習い私も感想を。5時前、まだ辺りは暗く…毎回朝起きる時に、少し躊躇します。でも、集合時間の6時に近づくにつれて、段々明るくなって空の色が変わっていくのを、途中の車から見れて、得した気分になります。朝から身体を動かして、頭も身体もスッキリします。掃除の後の読書会も、人前で音読する事は久しく遠ざかっているので、ドキドキしてます。その後の皆さんの感想も、短く自分の考えを分かりやすくまとめてあって、とても勉強になります。なので、朝の躊躇もすっかり忘れて、またお掃除に行かせて頂くのです。また皆様よろしくお祈りします。

SAEKI

鍵をかけられた駐車場の入り口やブルーシートを巻きつけられた滑り台を見て、「これこそ異常じゃない？」と違和感を感じました。メディアによる刷り込みで自分の頭で考えない人が多いように感じますが、そうならないためには五感を鍛えることが大切だと思います。鼻や目を効かせてゴミを探しだし、手で拾うゴミ拾いは五感を鍛えるには最高だ！！と、強烈に思いました。いつもありがとうございます(^^) MARIMARI



今日も掃除に読書にありがとうございました！読書では皆さんの感想、ひとりひとりへの袈裟右衛門さんの言葉に、それぞれに重ねた経験からのいろいろな感じ方考え方に触れる事ができ、とてもありがたいです。そして掃除は、ゴミを拾いながら空を見てたり会話したりと、無意識に心地よい時間を過ごすことができます。掃除に参加を始めた12月から今日の掃除を振り返ると、ゴミに集中してた自分から、ゴミを拾いながらも何かを楽しんでる自分になってる気がします。これって心の視野も広がってるのでしょうか？！この感想も自分を振り返ることができました！今日もありがとうございました😊
TAHARA

「明日掃除があるけど行く？」「行く！」「お父さん？しっかり起こしていいけんね！」前回起きられなくて残念だったようです。前日の雨で心配していましたが、無事雨も降らず、とても風が心地よいお掃除となりました。娘はみなさんに可愛がっていただき、良い経験をさせていただいています。本当にありがたいです。その後の読書会では、最近ずっとモヤモヤしていて、疲れていた頭と心が軽くなりました。働くことは大切だなあと改めて感じました。自分の役割って？どう生きるか？掃除をとおして、分かっていけたらと思います。本日もありがとうございました。 TURUGA

雨上がりの気持ちの良いお掃除日和でした。お花が植えられているところにタバコが沢山捨てられていました。せっかく綺麗な公園なので来の人が気持ち良く過ごせるようにと想いながら拾わせていただきました。読書会ではお一人お一人のご経験や人生観を聞くことができ、とても学びになりました。お掃除での皆さんとのご縁に感謝です。 MEGUMI

日本一きれいな博多駅・福岡の街に！

第 334 回

博多駅 早朝清掃

毎月 **8** 日 午前 6 時 15 分～

【第一回】平成 5 年 12 月 8 日開催

福岡実践人・JR 九州博多駅
精華女子高等学校・福岡掃除に学ぶ会

 **ハウスマイト**



第334回 博多駅早朝清掃

28年目・・・

9月8日(水曜日)

108名参加



2021年9月8日博多駅早朝清掃のスタートは雨降る中での始まりでした。雨の中での準備運営は日頃と違った角度からの目線が必要となり、まさに…お掃除で学ばせて頂いております。かきくけこの振り返り実践だと思いました。雨の日マニュアルが紙ではなく、私達、世話人一人ひとりが自らの役割を持ち仲間間で声かけ合い確認していく姿は真の生きたマニュアルではないかと感じました。終盤にはお天道さまがお顔をお出しくださり私の心がさらに…清々しい気持ちで一日のスタートを迎える事ができました。JUNJUN



早朝は大雨で、今日の参加者は少ないかなと想像していたのですが、108名の参加があり驚きました。雨もラジオ体操が始まる頃には上がり、天気にも恵まれました。博多駅周辺はゴミは少ないのですが、足元のグレーチングには泥やタバコの吸殻などたくさん出てきました。見えないところも綺麗にすることで、スッキリした気持ちになりました。清々しい一日のスタートになりました。ありがとうございました。 HIROMITU

本日のお掃除も感動の時間でした(^^)『思いが現実をつくる』と言われるのですが、ザーザー降りだった雨が、掃除が始まると同時にぴたりと止んだのにはびっくりです！まるで、思いを持って集まった参加者一人一人が、一つ一つの雨つぶとなり、全てお見通しのお天道様の光が、参加者一人一人の思いの中ではね返り、はね返った光が繋がって美しい虹がかかっているよな、、、☁️そんなことを想像させる時間でした。コロナ禍の中、分断という大きな流れがあるからこそ、ご縁を大切にしたいと思います。いつもありがとうございます。 MARIMARI



土砂降りの中、博多駅に向かい、掃除をする前から足下がびしょ濡れ。「雨嫌だなあ」と心の中で何度も思いました。雨の日は鍵山相談役の「例外をつくらない」という言葉をいつも思い出します。雨でも掃除をするということに掃除を始めたころ驚きましたが、曖昧な基準を作らず徹底することの大切さを学びました。参加者の方も少ないかなと思っていたのですが、108名も参加で驚きました。28年一度も休まず続けてこられた博多駅早朝清掃の凄さを改めて感じました。これからも30年、40年、50年とずっと続けていきたいと思っています。 MEGUMI

島根県から福岡へ移住、初参加のYさん

私は大雨での早朝清掃を体験したことがなかったので、緊張感と少しのワクワク感で朝を迎えました。始めるころにはすっかり晴れて、最後まで気持ちの良いお掃除をさせていただきました。たくさん参加されているので、どんどんきれいになっていきます。他の日の清掃で雑草とりをさせていただいたのを思い出し、ひたすら雑草をとりました。きれいなアスファルトでも意識する見え始めるんですね。次回も課題を見つけて、良いお掃除になるようにしたいと思います。 TURUGA



耕作放棄地再生と清爽活動in酒殿2020.12.29~

9月11日(土曜日)

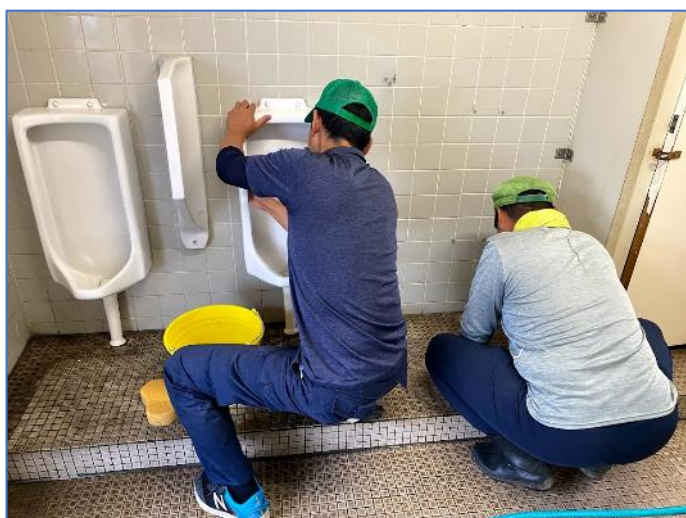


酒殿駅は3ヶ月ぶりのトイレ掃除でした。目の前には草ボーボーの私の畑が広がり、虫の声が心地よく迎えてくれたかと。。汗信じられないのは掃除の始めからポットン便所臭さもなく、毎月皆んなでトイレ掃除をしてきた成果を感じました。そして皆さんの掃除での、細かな目配り心配りのレベルの高さ、井さんのリーダーシップに自分の未熟さを痛感しています。しかーし！！そこは自分には伸び代たっぷりと前向きに捉えて、これからも学ばせて頂きます！！加えて、袈裟右衛門さんがいつも明るい雰囲気を作って頂いて、今月も酒殿駅トイレ掃除を楽しみました。ありがとうございました！

酒殿駅世話人 TAHARA

本日は大便器のところをお掃除させていただきました。汚れているところを磨くと綺麗になっていくのがとても気持ち良かったです。自分の心も磨かれていく感覚でした。床や窓の棧など頑固な汚れがまだあるので次回もしっかり磨きたいと思います。

MEGUMI



今日は久しぶりのトイレ掃除。気づけば初の素手でした。素手になることに対して、抵抗がなかったとは言えませんが、無意識の中で目にしていた皆さんの手が素手でしたので、自然と素手で行ったようです。これも、掃除の不思議な力でしょうか、改めて環境の力はすごいと思いました。まだまだ初心者、先輩方から助言をいただきながら、学びを深めていきたいと思います。いつもありがとうございます。

MARIMARI

今日の酒殿駅トイレ掃除は3ヶ月ぶりでした。少便器をやらせてもらいましたが、3ヶ月も経つと汚れが頑固で磨き甲斐がありました。3年前にトイレ掃除を初めてやらせてもらった時は便器に手を入れるのがとても抵抗がありましたが、最近ではほとんど抵抗もなく取り掛かることが出来ます。この3年間で少しは自分の心も磨かれたのかなと思いながら便器と向き合っていました。酒殿駅周辺はのどかで気持ち良く、虫の鳴き声も心を穏やかにしてくれました。その中で掃除後の皆さんとの語らいはとても充実した時間でした。HIROMITU

酒殿駅が近づくに連れ、畑がひろがり虫たちが大合唱で私を迎えてくれました。季節の移り変わりを身体で感じます。久しぶりのトイレ磨きは私に、基本を今一度振り返る機会を与えて下さいました。雑巾の搾り方に至っては、自分で基本をアレンジし自分流の搾り方をしておりました。いつの間にか、知らず知らず自分流が生まれていた事に気づかず自分流実践を今日までしておりました。ご指南下さいました、袈裟右衛門さん、有難うございました。振り返りの確認がいかに大切な事を改めて実感致しました。 JUNJUN

令和を巡る早朝清掃／戒壇院 2020.1.25～

9月25日(土曜日) 第21回



ありがたいことに、お彼岸の期間に戒壇院の清掃活動をさせていただきました。冷んやりとした爽やかな風が吹く中、西の空にはうっすらと白い月が光っています。緑色の苔の上には黄金色になりかけた葉が所々に落ちていました。厳粛な中にも温かい愛情を感じる戒壇院とのご縁に、ご先祖さまも喜んでるように思います。いつもありがとうございます。

MARIMARI



毎月、月末の戒壇院の清爽は厳粛な雰囲気と自然いっぱいの空間で身も心も整います。始まる前のラジオ体操やいつもの皆さんとのご挨拶、お掃除が終わった後の語りも心が穏やかになります。の鳴き声も変わりました。お掃除を通して季節の移ろいを感じられるところがまた良いです。ありがとうございます。HIROMITU

空気が澄んでおり、虫の声や土の香りを感じながらお掃除させていただきました。

所々に落ち葉があり、箒で掃きづらいところは手で拾いました。1枚1枚拾っていると途方もない感じがしますが、拾ったところを見返してみると綺麗になっており、気持ちが良かったです。

一つ一つの物事に対して丁寧に向き合うことの大切さを教えていただいた気がしました。

お掃除は単純な作業からいつも大切なことを気づかせてくれます。ありがとうございます。

MEGUMI

帆足行敏先生講和

平成13年2月1日

おはようございます。二月の一日ですから、私の発表ということですが、二三日か皆さんの発表を聞いて、この発表はいつ出るのかなと、いつも思っております。ところが、中々この発表が出てこないのです、そういう感覚かなと思つたのです。それは、一月二十九日だつたと思ひますけれど、記憶に新しいと思ひます。東京の新大久保駅で線路に落ちて、それを助けようと思つて、三人死亡したという事件がありましたですね。非常に大きく報道されておりますから、覚えておると思ひますけれども。酔つ払つて落ちた人は、名前はここでは申しませんが、助けようと思つて飛び込んだ人、飛び降りた人、カメラマンの関根史郎さん、四十七歳の方。もう一人は、韓国の李秀賢さん、二十六歳。咄嗟の出来事でしたから、助けようと思つて、逃げ場所を失つてしまつて、結局三人とも亡くなつてしまつたと。このことを誰か、ここで順番の方が言われるかなと思つてですね、私としては期待をしつたのですけれども、その話題は通り過ぎてしまつた。私は、こういう時代にですね、考え方はいろいろあると思ひますが、人の命を救おうと思つて自分が犠牲になつた。犠牲になることは、こういう場合は命を落としてまでですから、これは人によっては色々な言い方があると思ひます。そこまでせんでええだろうとかね、色々な言い方、考え方があると思ひます。自分が人の命を助けようと思つて、自己を捧げるといふ、こういうこの純粹な気持ちというのがね、私は非常に高く評価すべきじゃないかと思つて思つているのです。口ではね、我々の生き方の中で一番大事なのは自分よりもお客さんの為にといふことは言われるけれど、これは意外と口先だけの頭だけの考え方が強いんじゃないでしょうか。ここまでお一人の、この行動は、実に見事だと私は思ひます。早速韓国の方でも大統領が弔辞を申し上げるとか、或いは日本では総理大臣が書状を捧げるとか、そういうことがやられております。韓国では一億一千万人ですか、日本のお金に直して、一千万円の弔慰金が出たということですが、日本では、まだその金額は明示されていませんけれども、日本との懸け橋になつたと言われ方もしております。日本人の為に韓国人が命を捧げたという、非常に素晴らしい行為だということですが、私もこれに咄嗟に思つた時に、おそらく国は何らかの弔意をするだろうけれども、これはぐずぐずぐずぐずしていくのだからと。であれば誰か思ひ立つて、カンパでも募つてですね、弔意を示したらどうだろうと思つておつたのです。そうすると日本だつたら一億円くらいのお金は直ぐ集まるだろうと思ひます。

昨日も昼飯食へに行つて、その話がちょっと出た時に、そういう話題が出ました。私でもすぐ千円ぐらい出しますよと、その方が言つておりましたけれども。そう思ひ立つてやれば、そういう金はすぐ集まるだろうと。そういう弔意を示したらどうだろうかなと、こういう風に私は咄嗟に思ひました。日本人の中にも、まだこういう血があると、非常に素晴らしいなと、こう思つています。最近皆さんご存知のように、いろんな所で政治のボロがボロ出て来るじゃないですか。みんな金にまつわること。政治は遠いところだと思つていたところが、身近な福岡市でもそういう行為が行われている。本当にざまないですね。そういう中で、一輪のきれいな花がこういう風にあつたと。

それで「こゝでひとつ言葉の事なですけれども、愛とは何か」といふことを、私は教わつたことがあります。「愛とは何か」と。子供に対する愛とか、いろいろな言い方があると思ひます。しかし本質はですね、やはりこれだと思ひます。相手の為を捧げるといふこと。自己を捧げるといふのが愛です。愛の本質はそこなのです。親子の愛といふのは、親が子供に対して、いわゆる自己犠牲になるという、そういう精神なのですね。精神と言つても、精神と行動を両立させなきゃならんのですけれども。そういうものがですね、愛なのです。そこを皆さんは、良く知つておく必要があると思ひますね。そういうことを発表にあつて、一番最初に、これは皆さんにちょっと言つておかなきゃならんと思ひます。

それからちよつと細切れになりますけれども、森先生からいろんな教えを受けたのです。しっかりと人間になれと。しっかりと人間にならないかと。どうしたらしっかりとになれるかということ。これは前にも皆さんにお話したことがあつたと思ひます。その中で先生のテープを引き出して聞いてみたのです。森先生の話はなかなか気合が入つてますからね。自分がしっかりとやるということは、言葉を換えると、主体的な人間になるということですね。自分の主体が立つ。自分で自分の判断が出来る。自分で自分の行動の責任が取れる。こういうのが、主体と言ふ。そういう人間になるには、ポーンとしておつたら出来ん冒頭に言われたのがですね、とにかく今まで歴史の中で何かこうやり上げてきた人、或いはやつた人、そういう人に徹底して学びなさいと。それが一番近道だと言つていますね。これは亡くなった人もよし、或いは素晴らしい人で、生身の人であれば尚更良しです。そういう人に直接学んでいくという時に、初めて自分の主体が出来るのだと。そして然も、その中で厳しく言つたのは、大学では駄目だと言つてたね。

簡潔に言ったのは、人間はそういう風に学問づらで追っかけていくと、人間が利己的になってしまふ、そういう人間では駄目だということを、講演の中で言っているのですよ。私も良く聞いたけれどもね、知は我ということを良く聞きました。知識は我ということ。知識を磨けば、同じ速度で我が育つ、いわゆる同じスピードで利己的になると言つたのですね。だから利己的なものを追っかけた人物を追いかけても駄目だということなのです。それで、自分が主体的になろうと思うならば、そういう人を選んで、そういう人の歩いた道をしっかり勉強する、そうすると自分の一生の時間が分かるというのですね。そして、今の年代で何をやらなきゃならないかという、その区切りも分かる、言っておられます。人生は限られている。だから自分の人生の見通しを立てる。そしてその見通しに立って、今何をしなきゃならないか、今の区切りの時点で何をすべきか。これはみんな今申し上げたように、偉い人の歩いた道を徹底的に勉強すると、それが見えてくるというわけです。よく今何を為すべきかということ問われても、ぼーっとして、「さあ？」という風に、みんなそういう風になるのですけれど。そういう様に偉い人の歩いた道を辿っていくと、自分の距離感が出てくる。期間、そういうのが出てくる。それをしっかり学んでください。ということ、一応これを若い子供たちにもですね。是非読ませておきなさい、勉強させておきなさいという人を二十一人挙げております。ちょっと参考までに、その人の名前を申し上げておきましょう。

一番目に、中江兆民。二番目に、石田梅岩。三番目に、カント。四番目に、伊能忠敬。五番目に、良寛。次が、二宮尊徳。トルストイ。吉田松陰。田中正造。石川理紀之助。御木本幸吉。この中には、御木本幸吉さんを森先生は大変称えておつたようです。この人はうどん屋の三男坊です。大学なんか行っておりませんけれども、非常に苦勞して真珠を世界的なものに成功させた方ですけれども、この方を挙げておりました。こんなにして歩いた人の姿をしっかりと頭の中に叩き込みなさい、こんなことを言っておりました。それから、豊田佐吉。キュリー夫人。ガンジー。芦田恵之助。シユバイツァー。ヘレンケラー。永海佐一郎。コルベ神父。宮沢賢治。永井隆。こういう人をですね、挙げております。これは、ひとつ皆さんが何から読むかという時に、そのうちに一番自分が読みやすいものを選んでいく。その手掛かりになるかと思つて、今皆さんに申し上げたのです。これが今日の話の第二番目です。「主体を作る」、それには自分だけで主体をするのには、やっぱり学べ。そういう人です。これは、今は人生の生き方とか、そういうことなのでしょうけれど、まだこれ以外の方で沢山居られると思います。それは自分でそういう人を選んでいけばいいじゃないでしょうか。

それから、その次に今日お話し申し上げようと思つたのは、樋口廣太郎という人を、皆さんご存知でしょうか。樋口廣太郎。アサヒビールの社長をしようたのですね。アサヒビールは日本でトップになった、あの社長、樋口廣太郎という人です。あの人が、日本の教育審議会、日本の教育をどうするかということの座長をしているわけです。その人がですね、座談会の席で、これからの教育ということ、三点挙げておられました。私は、まだこの三点では不満ですけれども、三点挙げておりました。その三点をですね、一応皆さんにご紹介をしようと思つておきます。ノーベル賞を受賞された方です。この方と新幹線で一緒に行かれたそうです。途中、樋口さんは空気枕を後ろに置いて、本を読んだり、そういうことをして東京まで行ったのだそうです。そうしたら、その斜め向かいに福井先生が坐られておられたそうです。そして自分の空気枕を不思議そうにずーっと、東京に着かれるまで見ておつたのだそうです。何でこの空気枕を福井先生はそんなに見るのかと。そして福井先生は大学の先生ですから、何か書き物をして、本を読んだりするのじゃないかと思つて、こちらはそれなりの興味を持って見ているのに、一切本なんかも見なくて、自分の空気枕ばかり見ているのだそうです。もう不思議でしょうがない、何でそんなことするのか。それで後で、福井先生に、何で私の空気枕をそんなに見られるんですか、何でそんなに見つめるのですかと言つたらですね、「貴方がはめておつた空気枕は何であるか。それは何ですか」と、質問をしたのだそうです。そして、「これは空気枕です」。それぐらいのことをですね、一遍聞けばすぐ分かるじゃないですか、思つたのですね。樋口さんは、そう思つてました。そして、福井先生が何て言つたかという、「ひと言質問をしてね、それは何ですかと言え、すぐ分かつた筈だ」と、それは分かる。しかし、それを聞かなくて、自分の頭で考えていくところ、非常に興味があるし、勉強になるのですよ。「と、こういうことを福井先生が言われたそうです。ちょっとした二人の対話ですけれどね、そういう風なオリジナルと言いますか、福井先生は人から聞いてこつじやなくて、自分の頭で考えていくという、こういう事が非常に重要な、これからの教育の中で非常に大事な点です。オリジナルということですね。だから、教育のポイントのひとつはオリジナル、普通で言えば個性、その人の持っているものをずっと追求し求めていくという、こういうことが非常に大事だということを、第一点目にまとめておられます。

対談 進行Ⅱ高瀬 町長Ⅱ宮崎 建築家Ⅱ葉

「木」の創造力は次代を刺激する
なぜ「木」なのですか

高瀬 まず、なぜ葉氏に白羽の矢をお立てになったのですか。

宮崎 一九八三年に町長に就任し、その翌年十一月に国鉄の宮原線が廃止になった。そこで肥後小国駅跡の2万㎡の払い下げを受け、その転換交付金(補助金)を元にゆうステーションを建設、一帯を開発することになった。

その補助金申請のための提案を受けたい、というのが最初です。ちょうど、締め切りの2ヶ月前でした。

あの時のことは、今でもよく覚えているのですが、企画室長から「ギリギリですよ」と言われ、電話交換手に、「葉祥栄さんという建築家の事務所を探して、ダイヤルしてみてください」と頼んだ。そしていきなり電話で話し始めた。熊本の作品やポストモダンの本で知っている位ですけどね。

葉さんから「ご自分の推薦ですか」と聞かれ違います。私が決めましたと答えたのです。葉さんを選んだのは、このままの小国の、山村の姿勢ではない、と思ったからです。農材業は国の施策を受けてやってきたが、状況は変わらず、都市との差が開くばかりだった。自分達の力を発揮して、自主的な取り組みをしていただろうか。

「二」で何か、思い切ったことをやりたい。その時、町の真ん中に、2㎡もの土地と開発工事が出てきた。

これは意地みたいなので、モーターリゼーションが鉄道をなくしたわけですが、後ろ向きに取り組むか、前向きに取り組むか。小国の場合、郷愁で宮原線を残すか、時代を埋えて未来に向かって取り組むか。小国は、前向きに取り組もう、というのが、葉さんを選んだ理由だった。

葉「これには複線があつて、木で何とかできないものか、との気持ちをお持ちなのに、言われていなかった。

小国の育てるべき資産は、やはり林業です。「小国なりといえども、豊なり」で健康

龍命が阿蘇の頂上から矢を放ち、落ちたところが宮原。

その頃オランダでジャパン・ウィークがあり、土地を読むことを襲っていた。人脈ではなく地脈。最初の窓口は宮崎さんだったので、宮崎さんの目で土地を見たら、非常

によくわかった。同じような閉塞状態に陥りたくない。どこかに活路があるのではないか。しかし、誰にもわからない、小国にもわからない。立派な木があると言っても、昔の寺社仏閣のようなものを作っても、何の展開にもつながらないし、閉塞状況打破することもできない。

アイデンティティを構法に

葉「イメージとして、細い木材。それは間伐材しかない。間伐材をたくさん集めれば、太い材に負けないものができるのではないだろうか。コンピュータも乾燥打術もある。そんなことを考え合わせて、もしかしたらできるのでは、と創造したのが、立体トラスト構法。

それはまったくのイメージ。イメージで五つの模型を作り、それを2月に議会へ提出した。町で予定している建物は、あるシステムで作れるかも知れないという提案だった。とにかく何でもできます、いままで見えたことのないようなモノができます。ってね。これが大変喜ばれた。

つまり、私は小国のアイデンティティを構法に求めた。

宮崎「最初は「ゆうステーション」だけだった。その時、森林組合が国の補助事業を活用して林業センターを、また、国土庁の補助で町民体育館(小国ドーム)を建設する計画があつた。それではこれらも葉さんにお願しようとなった。次回へつづく

一九九一年一〇月一日発行

発行所(株)デルファイ研究所 取材・構成 一文

木の文化を創る人々熊本県小国の場合 高瀬隆三郎

二〇二一年九月二五日

広葉の林を育てる会 興膳文治



	10 月の活動予定表						11 月の活動予定表					
日	2	2	8	9	16	23	6	6	8	13	20	27
曜	土	土	金	土	土	土	土	土	月	土	土	土
行事活動名	福岡空港ミリオン清掃 第41回	福岡実践人仁風読書会 58回	博多駅早朝清掃 第334回	JR酒殿駅早朝清掃 第10回	新飯塚駅早朝清掃	令和を巡る早朝清掃 第22回	福岡空港ミリオン清掃 第42回	福岡実践人仁風読書会 59回	博多駅早朝清掃 第335回	JR酒殿駅早朝清掃 第11回	新飯塚駅早朝清掃	令和を巡る早朝清掃 第23回
場所	福岡空港 周辺一万m	大井中央公園	博多駅博多口	JR香椎線 酒殿駅北口	福岡県飯塚市新飯塚駅	福岡県大宰府市 戒壇院	福岡空港 周辺一万m	大井中央公園	博多駅博多口	JR香椎線 酒殿駅北口	福岡県飯塚市新飯塚駅	福岡県大宰府市 戒壇院
開始時刻	6時	7時	6時15分	6時30分	6時30分	6時30分	6時	7時	6時15分	6時30分	6時30分	6時30分
運営団体	福岡清爽クラブ	福岡実践人	福岡清爽クラブ	福岡清爽クラブ 読書人耕作放棄地再生楽交	いづか清爽クラブ	福岡清爽クラブ	福岡清爽クラブ	福岡実践人	福岡清爽クラブ	福岡清爽クラブ 読書人耕作放棄地再生楽交	いづか清爽クラブ	福岡清爽クラブ

楽農人遊休農地再生楽交の活動予定は<https://www.rakunoujin.com/>を確認下さい。

発行人(編集人) 富吉 袈裟右衛門

- ◇NPO法人福岡実践人 福岡清爽クラブ
 - ◇一般社団法人 実践人の家 福岡仁風読書会
 - ◇NPO法人 楽農人 耕作放棄地再生支援楽交
- 〈合同事務局〉 〒811-2247

福岡県糟屋郡志免町向ヶ丘2丁目4番3号 <<仁風庵>>
 TEL 092-931-8155(掃除) 931-8150(読書) FAX 092-931-8120
 E-mail fukusoukai@souji.link (掃除)
 kesa@rakunoujin.com(農業)



「再生」に掲載している写真は、富吉が撮影・管理しています。必要な方は事務局までご連絡ください。